



歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文京」

文京区

面積	11.29km ²
世帯数	124,069世帯
人口	227,218人 (うち外国人) 9,753人
予算	1,124億円
職員数	2,009人



文京シビックセンター

区有施設と区役所からなる総合施設です。25階の展望ラウンジからは、富士山、秩父連峰、筑波山を望むパノラマが広がります。



森鷗外記念館

文京区ゆかりの文人の一人である森鷗外の生誕150年を記念し、鷗外の旧居「観潮樓」跡地に開館しました。展示室のほか、映像コーナーや鷗外関連の調査・研究のための図書室などがあります。



文京つつじまつり

約100種3,000株のつつじが見ごろを迎える中、文京つつじまつりが開催されます。まつり期間中は、根津神社のつつじ苑の公開や、根津権現太鼓などのさまざまな催しが行われます。

歴史・見所・名所

文京区は、江戸の面影を色濃く伝える史跡や文化資産の多い、歴史的なまちであり、また、伝統ある大学や多くの学校のある文教の地としても知られています。

昭和22(1947)年3月15日、東京都の区部が22区(のちに23区)に改編されたときに、旧小石川区と旧本郷区が合併して誕生しました。区名については、旧小石川区役所職員の応募の中から親しみやすく、“文教の府”というイメージがふさわしく、両区の性格を端的に表しているということで、「文京」という名称が選ばれました。

区内には、由緒ある神社・仏閣、歴史を語る建造物が数多く残っているほか、明治時代には東京大学を始めとする多くの学校が作られ、さらに森鷗外や夏目漱石などの近代文学史上にその名を残す文豪たちが活動の拠点とし、文京のまちの礎を築きました。道沿いに点在するそのような文人たちの旧居跡や文学碑を眺めながら、散策を楽しむことができます。

また、小石川後樂園や六義園など江戸の大名屋敷庭園の面影をよく残している庭園もあり、緑と文化財に恵まれたまちといえるでしょう。

概要

坂と台地のまち

武蔵野台地の東縁部にあたり、「坂のまち文京」といわれるように、こう配の急な坂やがけと、江戸川(神田川)や千川・藍染川(ともに現在暗きょ)などがつくった低地の部分、また関口台、小日向台、小石川台、白山台、本郷台の五つの台地に分かれ、台地と坂、台地に囲まれたいくつかの谷から成り立っています。

また、古くから大学や私塾が多く、文化人が好んで住む地域で、名だたる文豪たちがいくつもの坂道に足跡を残しています。鷗外と無縁坂、漱石と団子坂、啄木と切通坂、一葉と菊坂がその例といえます。

文教のまち

江戸時代に官学の府ともいうべき湯島聖堂や昌平坂学問所のあったこの地は、明治時代に入ると広大な武家屋敷の跡地に教育機関が多く集まりました。区内には、令和2(2020)年7月時点で、19もの大学・短期大学が所在しています。

産業

印刷・製本業は、本区を代表する産業で、大手印刷会社から中小の印刷・製本関連の事業所まで軒を連ねています。また、本郷・湯島地

区は、東京大学医学部が開設された明治時代から医療関連産業のメッカとしても知られ、メディカルタウンとして有名です。

近年では、教育・学習支援をはじめとした都市型産業も増加し、区内の大学が有する知的財産を活用したベンチャー企業も育ち、産学連携により新たな活力が生み出されています。

主要課題・将来展望

〇「文の京」総合戦略の策定

文京区では、平成22(2010)年6月に策定した「文京区基本構想」に掲げる将来都市像“歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」”の実現に向け、3期にわたる「文京区基本構想実施計画」に示した計画事業を着実に実施してきました。

一方、ライフスタイルの多様化やICTの進展、人口減少社会の到来等、社会環境の変化は著しく、様々な社会的要因による行政需要の変化に対し、自治体の対応力が求められています。先を見通すことが難しい「変化の時代」において、将来にわたり持続可能で豊かな地域社会を構築していくためには、これまで以上に、迅速かつ柔軟に区政課題を解決していくことが不可欠となっています。

このような状況の中、基本構想が、計画期間である概ね10年を迎えたことから、令和2(2020)年3月に、新たな区の最上位計画として「文の京」総合戦略を策定しました。本戦略では、基本構想の根幹となる理念や将来都市像を、あらゆる分野の共通の指針として継承しつつ、区が解決すべき主要課題を明らかにし、4年後の目指す姿を見据えた、取組の方向性や事業のロードマップを示しています。

〇課題解決型の区政運営

「文の京」総合戦略は、重要性・緊急性が高い優先課題を明らかにした「重点化計画」として、計画期間(4年間)で取り組むべき主要課題を掲げ、課題解決に向けた計画事業や年次計画を「戦略シート」で明らかにしています。また、施策や事業の展開には絶えず検証を加え、予算編成との連動を図りながら、計画期間中であっても事業を柔軟に組み替えるなど、戦略的な事業展開を図っており、新型コロナウイルス感染症についても、感染症対策と社会経済活動の両立や、様々な社会変革にも柔軟に対応した、より効果的な施策等を示し、適切に取り組んでいます。

これからも、SDGsやSociety5.0の視点も生かしながら、分野や領域を超えた柔軟な発想により、社会状況の変化に適應する課題解決型の区政運営を推進していきます。

【主な主要課題】

基本政策	主要課題(抜粋)
子どもたちに輝く未来をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 ・ 保育サービス量の拡充・保育の質の向上 ・ 子どもの貧困対策 ・ 新しい時代の「学力」向上 など
健康で安心な生活基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービス基盤の充実 ・ 障害者の自立に向けた地域生活支援の充実 ・ 区民の主体的な生活習慣の改善 ・ 新型コロナウイルス感染症対策の推進 など
活力と魅力あふれるまちの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の企業力向上 ・ 文化資源を活用した文化芸術の振興 など
文化的で豊かな共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティの活性化 ・ 人権と多様性を尊重する社会の実現 など
環境の保全と快適で安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心で快適な公園等の整備 ・ 地球温暖化対策の総合的な取組 ・ 地域防災力の向上 など



六義園

江戸初期に完成した桂離宮の庭園の様式を採用した回遊式築山泉水庭園です。元禄時代の明るいおらかな気風を反映した、江戸大名庭園の代表的なものです。



青少年プラザ(b-lab)

区内初の中高生向け施設です。いつでも、なんでも挑戦できる、中高生の秘密基地として、様々なイベントが催されています。